

令和2年度 稲沢市社会福祉協議会事業計画

-基本方針-

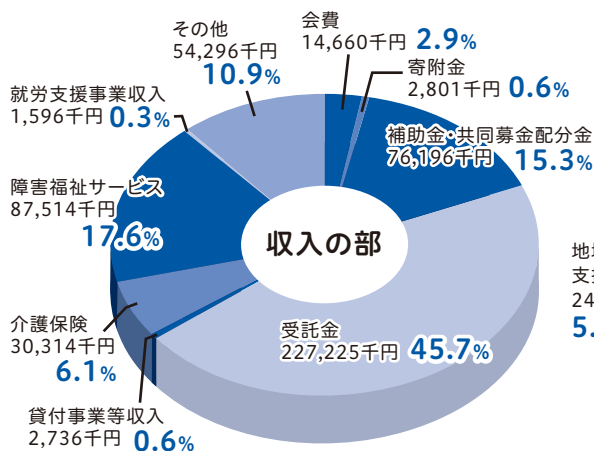
現在、国においては、「地域共生社会の実現」を掲げており、「他人事」になりがちな地域の課題を住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みを作るとともに、市町村における「丸ごと」の総合相談支援の体制整備を図るといった「我が事・丸ごとの地域づくり」が進められております。

本会におきましても、第4次稲沢市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）の「地域のみんでつくる、安心して暮らせるまち」の基本理念のもと、地域住民や地域組織と連携し、地域における支え合いの仕組みづくりや課題解決に向けての体制整備の強化に努めてまいります。

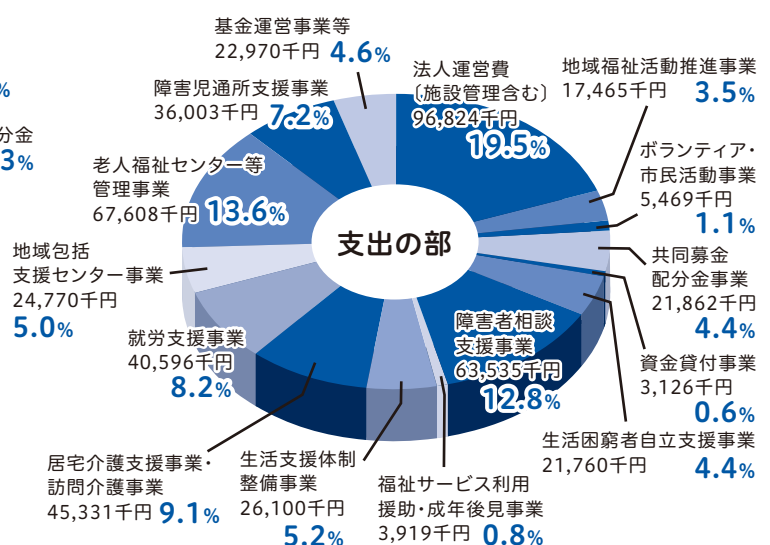
また、令和3年度からの福祉の拠点への移転に伴い、福祉総合相談窓口の強化を図り、断らない相談窓口としての相談体制を構築するよう整備を進めてまいります。

資金収支予算の内訳

収入合計 497,338千円



支出合計 497,338千円



※「事業計画」、「予算」の詳細および「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、本会WEBサイトに公表しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記事業の実施をやむを得ず中止としております

福祉実践教室、学生施設ボランティア福祉体験学習、ひとり親家庭日帰り旅行、花いっぱい運動(春の配付分)

※5月31日現在

ひとりでも多くのかたに 笑顔を ～新「ひまわり園」の挑戦～

本年4月から「稲沢市立ひまわり園」の管理・運営を、指定管理者制度により本会が行っています。

従来の児童発達支援事業に加え、市内初の保育所等訪問支援事業、併設で障がい児に特化した相談支援事業所「サポートセンターひまわり」(受託事業)を開設しました。

また、児童発達支援事業では、稲沢市がひまわり園設立時から力を入れ取り組んできた親子通園や、言語聴覚士等の専門職と協力した質の高い療育を引継ぎ、新たにペアレントトレーニングを実施しています。その他に単独通園と送迎サービスも開始し、また、看護師を配置し、肢体不自由児や医療的ケアが必要な子どもたちが地域で安心して過ごしていただけるよう、越境せず市内で対応ができる体制を築きました。

職員一同、子どもたちに寄り添い、保護者とともに成長を見守り、喜びを分かち合えるひまわり園を目指します。